

在日本韓国YMCA、東京センテニアルYサービスクラブ共催

第11回オリーブ平和映画祭

オリーブ平和映画祭とは…パレスチナの東エルサレムYMCAと交流を進めている在日本韓国YMCAが、パレスチナに暮らす人々の現状に触れ、理解を深め、共感の場を広げたいという思いから、毎年東京センテニアルYサービスクラブと共催で実施する映画祭です。会場ではベイトサフルYMCA（ベツレヘム：パレスチナ自治区）で製作されたオリーブクラフトの販売、フェアトレードのオリーブオイル・オリーブ石鹸の販売も行います。

本映画祭の収益金は、東エルサレム YMCA との交流活動、現地におけるプログラム支援のために用いられます。



映画上映後にゲストによるトークがあります！（約30分）

5/17 (金)

19:00-21:00



乳牛たちのインティファダ + 早尾貴紀 トーク

パレスチナのある町の人々が、それまでイスラエルから買うしかなかった牛乳を独自に生産しようと、18頭の乳牛を“合法的”に手に入れる。しかし、イスラエル当局は牛を“国家の脅威”と見なし、その摘採に乗り出した…。(監督：アメール・ショマリ、ポール・コーワン / 2014年 / 75分)

<ゲストトーク>

早尾貴紀（はやおたかのり）：東京経済大学准教授。専門は社会思想史。著書に『ユダヤとイスラエルのあいだ』『国ってなんだろう？』『シオニズムの解剖—現代ユダヤ世界におけるディアスポラとイスラエルの相克』（共著）ほか。訳書多数。

5/18 (土)

13:00-15:30



ラヤルの三千夜 + 金城美幸 トーク

1980年、パレスチナ人の女性教師ラヤルは、爆弾テロを起こした少年をかくまったという虚偽の告発で、イスラエルの刑務所に収監され、懲役8年（約3000日）を宣告される。パレスチナの政治犯とイスラエルの犯罪者がいかにあふ監獄の中で、身ごもっていたラヤルはやがて男の子を出産した…。(監督：メイ・マスリ / 出演：マイサ・アブドゥ・エルハディ / 2015年 / 103分)

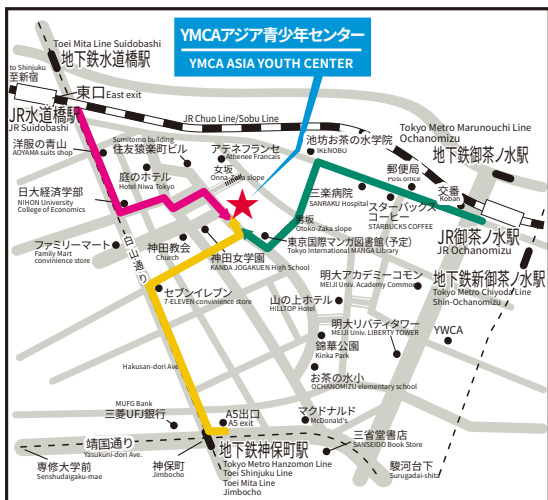
<ゲストトーク>

金城美幸（きんじょうみゆき）：立命館大学等非常勤講師。専門はパレスチナ／イスラエル史学研究。論文に「歴史認識論争の同時性を検討するために—イスラエルと日本」、「『虐殺』の物語の奥行き—シャリーフ・カナリアナ、ニハード・ゼイターウィー著『デイル・ヤーシーン』の解題と翻訳」ほか。

5/18 (土)

15:50-18:00

乳牛たちのインティファダ + 早尾貴紀 トーク



料金

一般 1500 円（前売り 1200 円）
学生 1000 円（前売り 800 円）

前売り券はYMCA 1階フロント、3階事務室で直接ご購入いただくか、電話・FAX・メールでご予約ください。

TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
メール：ayc@ymcajapan.org（担当：たづけ）

会場

在日本韓国YMCA スペースY（地下）

東京都千代田区神田猿楽町 2-5-5

JR 水道橋駅徒歩 5 分 JR 御茶ノ水駅徒歩 8 分 地下鉄神保町駅徒歩 7 分